

神戸昇天教会月報

〒652-0015 神戸市兵庫区下祇園町39番7号 神戸昇天教会

牧師 小南 晃 電話 (078) 361-4490

FAX (078) 361-4539

http://nssk-kobeshoten.org/ 振替口座 01110-2-10517

今年の標語

「来てみませんか？」と誘える教会を目指そう。

努力目標

◎信仰的学びの機会を増やす。

◎地域との交流促進。

◎神戸昇天教会リーフレットの作成。

聖語 喜ぶ人とともに喜び、泣く人とともに泣きなさい。(ロマ12:15)

継承と変革

子孫に隠さず、後の世代に語り継ごう

主への賛美、主の御力を

主が成し遂げられた驚くべき御業を。(詩78:4)

司祭 ミカエル 小南 晃

猛暑の夏もようやく過ぎようとしています。今年も、多くの教区等の夏期行事が、主の恵みと祝福の内に行われました。感謝したいと思います

「継承」というキーワード

そうした諸行事において、今夏は一つのキーワードがありました。それは「継承」という言葉です。

広島平和礼拝2013において、自ら被爆体験のある「語り部」の方々が、高齢化により、やがておられなくなるということが言われていました。原爆・核兵器による惨劇を繰り返さないための語り継ぎは、果たして「継承」されるのでしょうか？

そうした危機的な状況の中で、碑巡りの案内ボランティアを担う中高生や青年の存在を聞きました。それは「継承」の証しのように思います。

また今年50回目を数える中高生大会では、テーマそのものが「継承」でした。半世紀に渡って続いて来た、中高生大会の伝統を今後もさらに「継承」して行きたいという思いがあったのでしょうか。

継承の背後にある愛

講師の晴佐久昌英神父は、「継承」について「親の愛を受けて、その恩を親に返そうとするのではなく、自分の子ども、また次世代を愛していくことで、親の恩に報いていくことになる」ということから説明されました。即ち、「継承」には、無償の愛、犠牲ということも含まれて来るといえることです。

「継承」は教会の全ての営みにおいて大切なものであり、何よりも信仰自体が「継承」によって保たれており、また聖書は神の業を語り継ぎ、人々に「継承」する為に記されている書物であります。

継承と守旧の違いは？

今、宣教の低迷が危惧され、教会の変革・刷新が求められています。時として「これがこの教会の『継承』すべき伝統です」という姿勢が、教会の成長と発展を阻害することになっているかも知れません。

しかし、変革が必要なのは、「伝統」と言いながらも、形骸化した

まま、無意味に守られ続けているものです。変革されるべきは、そうした守旧的姿勢であり、「継承」と「守旧」とは違うのです。

晴佐久神父の講話に戻りますが、「継承」の背後には、無償の愛と犠牲、そして注がれた愛に対する感謝と喜びがあるのではないのでしょうか。そしてそこには神の前の謙遜がある筈です。

一方、成長を阻害する守旧的姿勢には、伝統的、権威的と称する立場に自らを置くことによって、自らを誇ろうとする姿勢があるのではないのでしょうか。

教会の変革は、教会生活の中で「継承」すべきものを再発見していくことかも知れません。

敬老感謝礼拝にあたり

9月15日(日)、今年75歳以上になる方々覚えて敬老感謝礼拝を行います。私たちは自分の信仰を、前の世代の方々から「継承」して今に至っているのです。

この時にあたって、今一度、先輩信徒の方々、どのように信仰を守り、教会を支え、そして奉仕の業を果たして来られたかに目を注ぎたいと思います。

そしてそこから「継承」すべきものを見つけて学び、共に信仰生活の刷新に努めて参りましょう。

定例集会

日 午前7時 早朝聖餐式
" 9時15分 教会学校
" 10時30分 聖餐式・説教
午後6時 夕の礼拝

火 午前10時30分 聖書研究会
土 午前10時30分 教会掃除
(ご奉仕をお願いします)